ひとりひとり自分らしく　個性と個性が生み出す調和

ハーモニー

市民活動課（内線357）

誰でも、どこでも、自分らしく

毎年６月23日から29日までの１週間は「男女共同参画週間」です。令和７年度のキャッチフレーズは「誰でも、どこでも、自分らしく」。

このキャッチフレーズのように、性別のイメージや考え方にとらわれず、個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現のために何ができるのか、この機会に考えてみましょう。

例えば…
・「男らしさ」「女らしさ」といったイメージにとらわれず、個人の考えや選択を尊重する。
・家事や育児を性別で分けるのではなく、家族全員が協力して行うように心がける。
・職場などでの採用や昇進、評価の場で性別による差別や偏見がないように意識する。

私たち一人ひとりの小さな行動が、社会全体の大きな変化につながります。「男女」という枠組みにしばられず、「１人の人間」として互いを尊重し合える社会を目指して、できることから始めてみましょう。

小さな一歩が大きなアクションに

今日から始めよう ＳＤＧｓ

政策推進課（内線514）

大阪・関西万博とＳＤＧｓ

大阪・関西万博が始まりました。

2005年に開催された愛・地球博に続き、20年ぶりに日本で開催される今回の万博は、ＳＤＧｓとも大きく関わっています。会場には、事業者はもちろん、訪れる人に対しても、地球に優しい消費行動を促すさまざまな仕組みが散りばめられています。

パビリオン出展者は、ＳＤＧｓの17の目標から必ず１つは展示に盛り込む必要があるそうです。また、会場資源のリユースのために、需要と供給をマッチングさせるサービスを行っており、万博終了後も会場で使われていた施設などが全国のどこかで見られるかもしれません。その他にも、会場内で食品の提供事業者と利用者をマッチングさせ、消費期限・賞味期限の近いお弁当や食品土産など食品廃棄物の削減を目指しています。

皆さんも会場に行く機会があれば、ＳＤＧｓの視点からも万博に触れてみてください。

取り組んでみよう

万博をきっかけにＳＤＧｓを考えてみよう。